**講演＆トーク「政治分野のジェンダー平等をめざして」アンケート集計結果**

**回答数　50**

**回答者の内訳**

**１）性別　 2）年代**

1. 本日のイベント（講演＆トーク）のことをどのようにお知りになりましたか。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

２．内容について

１）第1部の講演は理解できましたか？

**1 全く理解できなかった**

**2 あまり理解できなかった**

**３　どちらでもない**

**４　だいたい理解できた**

**５　よく理解できた**

２）講演については、いかがでしたか？

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, Teams

自動的に生成された説明

**1 期待外れ**

**2 期待より低い**

**３　どちらでもない**

**４　よかった**

**５　大変よかった**

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, Teams

自動的に生成された説明３）第2部について

　①二人の発言

**1 期待外れ**

**2 期待より低い**

**３　どちらでもない**

**４　よかった**

**５　大変よかった**

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, Teams

自動的に生成された説明②講師と発言者との意見交換

**1 期待外れ**

**2 期待より低い**

**３　どちらでもない**

**４　よかった**

**５　大変よかった**

③オンラインや会場からとの質疑応答

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, Teams

自動的に生成された説明

**1 期待外れ**

**2 期待より低い**

**３　どちらでもない**

**４　よかった**

**５　大変よかった**

４）一番印象に残った内容は何ですか？

・日本における女性の政治参加の難しさ

・お三方の意見交換、もっと聞きたかったです。

・女性の活躍という意味では、4政治と行政いずれにも女性の活躍がいる 両輪の輪　という前田先生の質疑応答の場面でのお話

・前田先生の講義のなかで、男性の重視する問題に争点が集中することがデータとして示されたこと

・第1部の前田先生の講演で女性の過小代表の問題点（クｵーター制を含め）を理論的に明らかにして頂いたこと、また「女性活躍」がジェンダー平等とは異なる政策目的の手段であることが理解できたことです。

・若い優秀な男性研究者がこのテーマの研究に取り組まれていることに希望を感じました。

・中田さんと清さんの発言が、身近で、体験に基づくもので、理解しやすく共感もでき、とてもよかった。

・中田さん、清さんの経験、実感に基づいたお話、勇気づけられました。

・第二部での会場、オンライン参加者、講師との活発な質疑応答がとても良いと感じました。

・前田先生の、民主制・民主主義について歴史的アプローチから、私たちのめざす形に自分たちで制度を変えていくという発想が新鮮でした。

・前田さんの講演　民主主義はかつて女性が除かれていた現実。女性の政治家の台頭は世界でも21世紀になってから。日本は何故こんなに遅いのか？

・女性地方議員の必要性

・男性は男性の声にしか耳をかさない！　多くの「前田先生」を期待します。

・若く男性である政治学者が女性たちと連携していることにちょっと感動しました。

・中田さん、清さんと講師の前田先生とのやり取りが興味深かったです。まさしく、ジェンダー視点と世代視点の交錯があり、本日の集会の醍醐味を感じました。

・前田先生の生の声でのご講演です。学問的な内容も丁寧にたどっていただき、過去に教育を受けたことのない分野ですので、大変新鮮でした。同時に、なぜ学校教育でこうしたことをきちんと学べなかったのかと、反省とともに課題を認識しました。

・今後の女性国会議員の増員のためには、まず地方から！

・地方政治のジェンダー平等が進まないと、国政も変わらない。

・三重大学岩本美砂子教授等、女性研究者の業績に言及しておられた点。

・日本は、「21世紀の民主主義」（前田）に到達していないということ。

・女性だから、少数派だからではなく、視点の違いを大事にしなければいけないということ。

・前田先生の基調講演

・前田先生のわかりやすい説明

・地方議員の女性の少なさが国会議員数に反映されているという事は、なるほどと思いました。与野党に女性候補者を増やしてと要望しましたが、地方の取り組みがネックなんですね。

・講師の指摘された、話し合い（議論）の「争点」という言葉。 ◆女性の争点と、男性の争点は違う。それは生活体験によって違ってくる・・。 とても、深く共感・納得しました。 だから男性にだけ政治をやらせるわけにはいかないのですよね。 50％以上は、女性からの争点でないとね。 ◆争点の設定：「何を決めるか」を決める。⇒名言です。 ◆講師作成のグラフ： 「日本政治の争点：男性の重視する問題に集中」、に驚愕しました。 分かりやすくて、社会の現状がよくつかめました。 混乱していた私の頭の中が、よく整理されました。

・前田先生の講話

・なぜ、女性議員が増えないのか？

・前田先生との質疑と、前田先生からパネリストへの質問が面白かったです。

・生活者ネットワークの活動。考え方、政策と男女の意識の差。

・女性が政治家になりたい人はいるけど、なれない何かがある。 子育ての段階から教育する必要がある。 上記のような状況が何十年も続いているのでなかなか女性政治家が誕生しないのかも。魅力的な女性政治家の誕生を期待しています。

・ジェンダー、クォーターとか、ペア立候補、くじ引き等取り組んでいく必要がある。

・日本の政治におけるジェンダーについて 議員（議会）の役割が争点となるトピックスを決める事 議員の生活の中での問題点が注目されやすい だからこそ、女性議員が増えて、様々な視点から問題提起されるようになったらいいという内容。

・政治でのジェンダー平等に向けて、どのような取り組みが具体的にできるのか、前田先生のお話は興味深く拝聴しました。

・民主主義とはなにか。 女性参政権の先進国がニュージーランドだったこと 現リーダーの活躍を目新しいものだとマスコミが報道しているが、民主主義が根付いた国だからなのかと納得した。

・女性活躍は男女共同参画の置き換えで、特に慰安婦問題で欧米諸国からの批判を交わすもので、ジェンダー平等と異なる政治目的のための手段とはショックでした。

・クォーター制度の実現に向けて

・組織規範とジェンダー規範に女性は板挟みされているという現状について

・フランスにはペア立候補があること。

・政治に参加する状況が、投票するOR立候補するいがいないという言葉がとても印象に残りました。

・日本でクォーター制が根付く方法

・林陽子先生のコメント

・前田健太郎先生の講義。研究者として今後の課題を示されたが、いずれもなかなか解決困難のなか、市民や行政の参加が力になり重要な一歩になるという示唆がよかった。

・活発な質疑応答のすべて

５）本日のイベント全体はいかがでしたか。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, Teams

自動的に生成された説明

**1 期待外れ**

**2 期待より低い**

**３　どちらでもない**

**４　よかった**

**５　大変よかった**

３．本日のテーマ「政治分野のジェンダー平等をめざして」について。ご意見がありましたらお書きください。

・今日のような企画を通じ、推進をめざす人たちの情報・意見交換が進むことはとても有意義だと思います。

前田先生に今後も多くの場でこのようなお話をしていただきたいと思いました。また、事前に資料を送っていただきましたが、先生のご了解がもし得られたら講演のパワポを希望者にお送りいただくことができればなお良いと思います。

・前田先生の安倍政権の代表制を欠いていたことが弱みになりダメな政策につながったことの指摘が印象的でした。女性のいない・少ない議会を減らしていかなければなりませんね！

・国政は男性社会、しかも高齢の方が多く、女性はとても入りにくいように感じます。市町村議会ではどうなっているのか、知りたいと思いました。

・女性の政治参加が少ないことは民主主義の形として歪んでいることを、女性はずっと言い続けてきましたが、男性も共に考えるようになることが大事と思いました。

・知り合いの政治記者が「女性の政治家は、秘書・ホステス・芸者・娼婦しかいない」と暴論を吐きました。彼は数人の名前をあげて分類をしていましたが、「市川房枝さんは？」と聞くと「あの人くらいかな、、、」と言ったのが記憶に残ります。もっと多様な女性政治家のロールモデルが欲しい。

・コロナ禍を機にあらゆる分野で世代交代やジェンダー平等が進むことを期待している。

・ありがとうございました。

・女性議員を増やすには野党の行動に鍵があることはよく知られていることですが、先般野党党首に選ばれた方の発言を聞くと、女性候補者の擁立は厳しそうです。立候補するためにはその方が積まれてきたキャリアを捨てなければならない側面があります。そのあたりの法制度の改正も必要な点と思います。

・待ったなしで、政党レベルからクオータ制に手をつけるべきです。

・前田先生の本を読み始めていたので、とても興味があった。まずは教育からですね。

・近い将来に実現するのは難しいかもしれないけど、清さんの「こうだったらいいのに」が実現してほしい。家事・育児を夫も主体的に担い、別の仕事をしながら議員ができるシステムが当たり前になってほしい。

・仕事柄、またボランティアで社会活動にかかわってきましたが、何が変われば世の中が変わっていくのか、自分にできることはないかを考える中で、このセミナーに参加させてもらいました。政治って難しいという先入観がありましたが、少し理解することができました。

・話題の著書の作者のお話を直接聞くことができて勉強になりました。

・私は２０１６年にアジア女性資料センター会員として台湾スタディツアーに参加しました。女性議員が増える事で女性・子供・老人・障碍者・性的マイノリティなどの問題が社会の中で認識され、サポート体制が前進したという話を聞いて、これだと思いました。一方、日本で女性議員歩を増やすためには、家事・育児・介護などは女性に任せる中で独身状態で長時間労働に従事する働き方を変えない限りは、政治に参加する意思のある女性達であっても障壁は大きいと思います。男女ともに仕事も家庭責任も担える形のディセントな働き方を実現する事で、女性の政治進出も進む事と思います。圧倒的な男性優位国日本の中でどうやっていくのか、女性の声を政治にと声を出していくしか無いですね。 　家族の用事で質問に対する回答、意見交換は聴けずに残念でした。 　今日は皆さま、有難うございました。　札幌市・赤坂京子

◆意見というより感想です。 外国の女性社会運動家のクリアな写真がみれてよかった。理解が深まった。 （昔、１９６４年ころ「メリー・ポピンズ」の映画をみて、ポピンズが子供たちを見ている間、マダム（母親）は英国での婦人参政権獲得の運動をしていました）。 他の写真も、選び方が上手だなとおもいました。 文章も簡潔で、目で追いやすかった。 さすがに本職（大学の先生）の作ったスライド（というのでしょうか）だ、と思いました。

・私は、子どものころから人前で話すことが苦手で、スピーチ等はしたことがないのですが、それではいけないと思いました。これから、少し練習します。 「男性の争点」だけの世の中なんてとんでもないですものね。

重要なテーマであり、こうした機会を継続的の持つことが必要と思う。

・企業のトップの意識改革

・政治家の大半は男性であり、意思決定の場に多様性に配慮して女性議員を増やすことは必要だと思います。意識の高いだけではなく、幅広い方々（女性だけでなく男性）へのジェンダーバイヤスの解消に向けたムーブメントの兆しや政治に参画する女性にもジェンダーに関する正しい知識を身につけ発言活動していただきたい。

・次代の政治を展望する上で避けては通れない課題だと思います。 性別に関わりなく一個の個人としてどのように政治に関わりこの国の方向を定めていくか、そうした問題を我がごととして考え取り組む人を育てる社会づくりが必要だと考えます。

・政治分野も行政も経済界も、家庭も教育もジェンダー平等になっていく必要があるのではないかと思いました。

・女性が政治家になりたいと思える土壌づくりがなかなか大変ですが取り組んでいかなければいけない事だと思います。クォーター制が導入されてば変わるのではと思いました。

・女性が政治に参画しないと世の中変わらない。小さい時からの教育、取り巻く環境の改善が必要。

・政治教育の貧困化、政治アカデミーの活発化するようお願いします。

・前田先生のお話は知らない事ばかりだったので聞けたよかったと思いました。学生時代に社会や公民などで学んだ民主主義が本当の意味で民主主義ではなかった事など、そもそものところから覆されてすごくためになりました。

・女性の意識改革も必要なのではないかと感じています。 女性の足を引っ張るのも女性だったりする場合も多いのではないでしょうか。 教育の場でのジェンダー平等に対する学習も上辺だけでなくしっかり行う事で将来が変わってくるのでは？

・このような講演を大学生にも、もっと聞いて欲しいと思った。

・昭和の男尊女卑の考えを持った政治家たちが引退したら、少しは平等に近づけるのかなと思いました。日本全体的に男女平等（ジェンダー平等）を目指すためには女性天皇を認めたり、首相を女性にしたり、議員にLGBTの人を増やしたり、 国のトップが手本を示したら良いと思いました。

・とても勉強になりました。ありがとうございました。

・女性議員の今後の本テーマのセミナーへの出席、発言を期待します。

・女性の議員、政治参加は増えて欲しいと思いますが、女性の議員を応援しようという議論だと男性議員として参加していいものかと思ってしまいます。 職としての議員と、政治家としての振る舞いの問題ですが。

・自民総裁選が男性一色で行われる中、大変重要でタイムリーなテーマであり、もっと多くの人に見てもらいたい内容でした。

５．ほかにご意見があれば、何でも結構ですので、下にお書きください。

・主催ホストのお顔が出てこなかったのが、ちょっと不思議な感じでした。

・タイムリーなテーマで良い企画だったと思います。オンラインのため遠くから参加できてありがたかったです。詳細なZooomマニュアルはとても参考になりました。ありがとうございました。

・今日は、有意義なシンポに参加させていただきありがとうございました。

・ハイブリッド開催のチャレンジに敬意を表します。ありがとうございました。会場からの音声が少し割れて聞こえていたのが少し残念でした。

・子どもへのジェンダー教育（学校、家庭）が重要であるように思いました

・オンラインだったことで東京から参加できたので、コロナの問題は不幸ではありますが、変えていく機会でもあると思います。運営は大変だったかと思います。ありがとうございます。全国の女性がつながるチャンスですね。

・長崎クラブの皆様お疲れ様でした。パネルディスカッションも大変勉強になりました。Zoomの使用ができるようになり、チャンスが広がりました。

・オンライン会議の意義を体験した。

・ご準備その他大変だったことと思います。貴重なシンポジウムに参加できてよかったと思っています。ありがとうございました。

・今回ハイブリッドでオンライン参加をお認めいただけたので参加できました。コロナ禍でITCが進んだことは皮肉ですが、恩恵をいただけましたことに御礼申し上げます。残念だったのは、会場からの発言をうまく聞き取れなかったことです。それでQ６は、１ポイント下げでした。

・ハイブリッド運営のご苦労がしのばれましたが、こうした貴重な企画に自宅から参加できたことが大きな収穫でした。会場司会者の音声がオンラインに分岐配信できるとさらに良かったかと思います。最後の高校生の発言がほとんど聞き取れず残念でした。少々誤変換があってもいいので、音声字幕でチャットに流してしまう手法も検討できるかと思いました。

・遠い長崎でのイベントでも、オンラインの恩恵で参加させていただきとても有意義な時間を過ごせました。スタッフの方々ありがとうございました。 　会場の高校生のせっかくの発言がよく聞き取れなくて残念でした。講演の途中でも雑音が多少気になりました。

・県行政審議会での回答の粗雑さにがっかりしました。県行政に関わる者として恥ずかしいことですが、そんな状況を変えられない自分に、もどかしさを感じます。

・ハイブリッドの運営でご苦労が多かったと存じます。会場からの声がオンラインだと聞きにくかったです。

・Zoom初体験で（参加３名の練習はあり）、こんなに良いものを見せていただいて感謝です。講演内容、Zoomの準備や告知の仕方がよかったです。 講師の話し方も、テキパキしていてやや早口でとてもクリアに聞こえました。 お二人のパネラーの時は、すこし音がこもりましたが内容は聞き取れました。 ありがとうございました。

・BPW長崎のみなさん、本日の会の運営ありがとうございました。とてもいい会でした。

・イベント全体を丁寧に運営された主催者の方々に敬意を表します。

・来月のオンライン会議の参考になりました！

・「女性に政治ができるか！」と頭に描いてある男性議員が多く猿山のように群れ、その中で物事を決めていく政治が行われている事に憤りを感じながら議員をしています。女性が３０％になれば景色が変わるのでようか。３０％を達成したいものです。

・ありがとうございました。次回参加したいと思いました。

・イベント告知がチラシ以外に見つけにくく共有が難しかった。ネットでイベント検索ができたらよかったです。

・イベントに来れてよかったです。ありがとうございました。

・難しいかもしれませんが、イベントについて宣伝ができたらいいなと思っています。大学生などの若い世代に広めたいです。 「長崎で東大の先生の授業が受けられる！」などと宣伝していきたいです。 もしよろしければ宣伝させて頂きたいです。 ツイッターアカウント　@partners\_shoes

・ジェンダーギャップ解消への愚直な訴求を期待します。

・本はアマゾン以外でも変えますのでできれば地方書店で買ってあげてください。

・コロナ禍でオンライン化されたことで、受講者も多様化し、活動が広がる可能性を感じています。これまでこうしたテーマの講演会に縁遠かった人たち、若い人も自宅でオンラインで参加してみる機会が増えるのではと思います。そうしたなか、私はメディアの人間なので、こうした意義ある講演会開催の告知をもっと効果的に行えるようにするすべはないのか、と考えました。

**たくさんの方にご回答いただき、ありがとうございました。**

**今回のテーマは、参加者だけでなく、もっと多くの人にも考えていただきたい事です。複数の方が触れておられますが、特に、大学生など若い方々に聞いていただけるアプローチを考えなくてはいけないと思いました。**

**コロナ禍のおかげで、「災い転じて福となす」を実現できたようです。みなさまも、それぞれの分野で、ますますご活躍されますよう、お祈りしております。**

**稚拙な運営で、ご迷惑をかけたことも多々ありましたが、ご理解・ご協力くださって、本当に、ありがとうございました。**

**BPW長崎クラブ**